

平成 26 年度館長、分館長、副館長と学生との懇談会実施報告書

1. 趣旨

附属図書館では、利用者ニーズ把握のため、直接学生から声を聞く機会として、平成 18 年度から学生との懇談会を開催し、原則的に本館と分館で交互隔年開催してきたが、平成 25 年度は開催せず、代わりに図書館利用者アンケートを実施した。

本年度については、本館と分館の両方で開催することとなり、まず蔵本分館で 6 月に開催された。

2. 日時・会場

平成 26 年 6 月 10 日（火） 18 時～19 時 10 分

附属図書館蔵本分館 2 階ミーティングルーム

3. 出席者

- ・福井館長、南川分館長（議長）、吉本副館長
- ・蔵本地区学生 20 名（運営委員会委員からの推薦等）
医学部医学科 3 名、医学部栄養学科 1 名、医学部保健学科 3 名、医科学教育部 1 名、栄養生命科学教育部 1 名、保健科学教育部 1 名、歯学部歯学科 2 名、歯学部口腔保健学科 2 名、口腔科学教育部 1 名、薬学部薬学科 2 名、創製薬科学科 2 名、薬科学教育部 1 名
- ・松本図書館企画課長、大田課長補佐、松尾蔵本分館事務室長、庫元蔵本分館事務室専門職員、宮本総務係長、近藤蔵本利用支援係長、國見蔵本利用支援係主任

4. 懇談会概略

前回の平成 24 年度の懇談会では、事前に参加者から寄せられた意見、質問をもとに、分館長からその内容に対する回答を説明するという形で進行したが、今回は事前に意見を求めず、懇談会において意見交換するという形で実施した。

意見交換に先立ち、南川分館長から挨拶及び本懇談会の趣旨について説明があった後、館長、副館長の挨拶並びに事務及び学生から自己紹介がなされた。

続いて、松尾室長から配付資料の説明があった後、分館長から、懇談に入る前に学生を 3 グループに分けて館内ツアーを行いたい旨説明があり、分館担当者の引率のもと館内説明ツアーが実施された。

館内ツアー終了後、分館長から学生に対して意見の求めがあり、学生との懇談が開始された。

まず、学生からパソコン環境についての要望が 2 件あり、有線環境の設定は近々対応すること、もう 1 件のパソコンの増設については様子を見るとともに、無線 LAN を利用してほしいと回答した。

北学習室やミーティングルームの使用時間延長の要望については、時間外入館者数の状況をみながら、試験期等の開館を検討したい旨回答した。

テーマ展示のテーマについて、学生の意見も取り入れてほしいとの要望があり、図書館側にとっては大変歓迎することなので、希望するテーマを意見箱に投函又は職員に申し出てほしいと回答した。

その他、電子ジャーナルや雑誌に関する質問、本館からの TOEIC 関係本や資格本の取り寄せ、専門書等の寄贈、市立図書館や県立図書館からの取り寄せに関する質問等があった。

具体的な学生からの意見及びそれに対する回答、対応等は下記のとおりである。最後に館長、副館長からの挨拶並びに分館長からの閉会の挨拶があり、本懇談会を終了した。



学生からの意見	回答・対応
<p>・無線が繋がらないときがあるので、どこか有線で繋がられる所はないのでしょうか。</p> <p>・21時以降は北学習室が閉まるので、もっと遅くまで開放してほしい。24時までには開けてほしい。</p> <p>・パソコンルームの席が少ないので増やしてほしい。</p> <p>・常三島本館で借りた本を、蔵本で返せるようにしてほしい。</p> <p>・テーマ展示のテーマについて、学生の意見も取り入れてほしい。</p> <p>・雑誌コーナーについては臨床系がほとんどで、自然科学系などが少ないので幅広く読みたい。たとえば、冊子体でネイチャー、サイエンス、セルなどの雑誌。</p>	<p>・1Fラーニング・コモンズ(西窓際カウンター席)及び2Fマルチメディアルーム(机上情報コンセント)で有線ネットワークを利用できます。詳しくは1Fカウンターにてお尋ねください。</p> <p>・時間外入館者数の状況をみながら、試験期等、期間を限定した開館を検討したい。特に試験期間には利用者が多くなるが、節電対策にも対応する必要があるため、総合的に判断したい。</p> <p>・荷物などを置いたまま席を離れるケースも見受けられるので、長時間席を離れるときは、他の利用者に席を譲るよう注意を促すようにしたい。座席数を増やせるかどうかについては、利用実態を把握しながら対応を検討します。 なお、無線LANの環境が整っていますので、ご自身のパソコンを持参いただければ通常の席でも利用が可能です。(なお、この場合は、事前の使用申込みが必要となります。)</p> <p>・現状で実施しています。周知が徹底していなかったため、今後ブログや掲示等により周知します。</p> <p>・大歓迎です。意見箱をテーマ展示場所に設置していますので、取り上げてもらいたいテーマがありましたら、テーマ名等を記入して投函ください。もしくは直接、スタッフに申し入れしてください。 また、ご希望のテーマに関連するお薦め本があれば推薦してほしい。</p> <p>・電子ジャーナルを利用してほしいが、冊子体での利用についても予算範囲の中で検討していきたい。 場合によっては、冊子体を他の研究室から借りることも可能と思われるので、カウンターまで相談してください。</p>

<p>・新しいジャーナルが次々と出てきているが、電子ジャーナルはどのような基準で選んでいるのでしょうか。たまに見えなくなることがある。</p> <p>・本館にあるようなTOEIC関係本や資格本を文芸コーナーのようにまとめて取り寄せすることは可能でしょうか。</p> <p>・教科書など専門書で貴重なものがあるので、使わなくなったものを寄贈したい。</p> <p>・グループ学習室が満室の時やグループ人数が多い場合にも使用できるように、ミーティングルームを21時以降も開放してほしい。</p> <p>・大学にない本を、市立図書館や県立図書館から取り寄せはできないか。</p>	<p>・蔵本地区の担当教員がコアジャーナルの選定について検討しているが、円安、値上がりなどで予算に限りがあり、これ以上数は増やせない状況となっています。予算の範囲内で入れ替えは可能となっています。必要な論文は文献複写依頼（ILL）をご利用ください。</p> <p>・利用時期が重なるためTOEIC、資格関係本をまとめて本館から取寄せすることはできません。図書購入希望申請と個々の取寄せをご利用ください。また、ブックハンティングに参加すれば、希望する図書を購入することもできます。</p> <p>・図書館への寄贈は可能なので、図書館へ直接申し出てほしい。ただし、マーカーなどを多く引いているものなどは、蔵書にできない場合があります。</p> <p>・電気使用料の増加等の予算的な問題もありますが、グループ学習室なども含めて稼働率は良いので、試験期等、利用の多い時期に期間限定で試行的実施を検討します。</p> <p>・今のところ連携のシステムは構築していない。市立図書館の移動図書館へリクエストはできますが時間が限られます。欲しい本があれば購入希望図書として申し込んでほしい。</p>
--	---